

## 【千年以上も受け継いできた山里の暮らし」を地域の宝として交流地消を推進】

2019年7月24日(水)、令和元年度 第2回 農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナーを開催しました。講師は、徳島県三好市から一般社団法人そらの郷の丸岡 進 事務局長と出尾宏二 事務局次長。徳島県西部圏域「にし阿波」地域の人口減少、高齢化の解決のため、交流人口拡大による観光地域づくりをどのように展開しているか、動画、パワーポイントにより講義いただきました。

ナショナルジオグラフィック紙に取り上げられたことを契機に世界中から外国人観光客が当地を訪問することになり、最初に戸惑いがあった農家のお母さんたちも今や訪問を楽しみにまっている様子。お蔭で寝たきりの老人がいなくなったと言葉の不自由もなんのその、フランスからのお客さんにハグで迎える「共感ツーリズム」の可能性を教えてくださいました。

山の暮し、日本人の暮しを全て体験に、住んでいる人の日常の暮しを体験してもらうことにより交流の付加価値を創造していこうとする取り組みは、うち(にし阿波)でもできるのだから、どこでもできる自身をもって取り組みましょう！と力強いメッセージもいただきました。

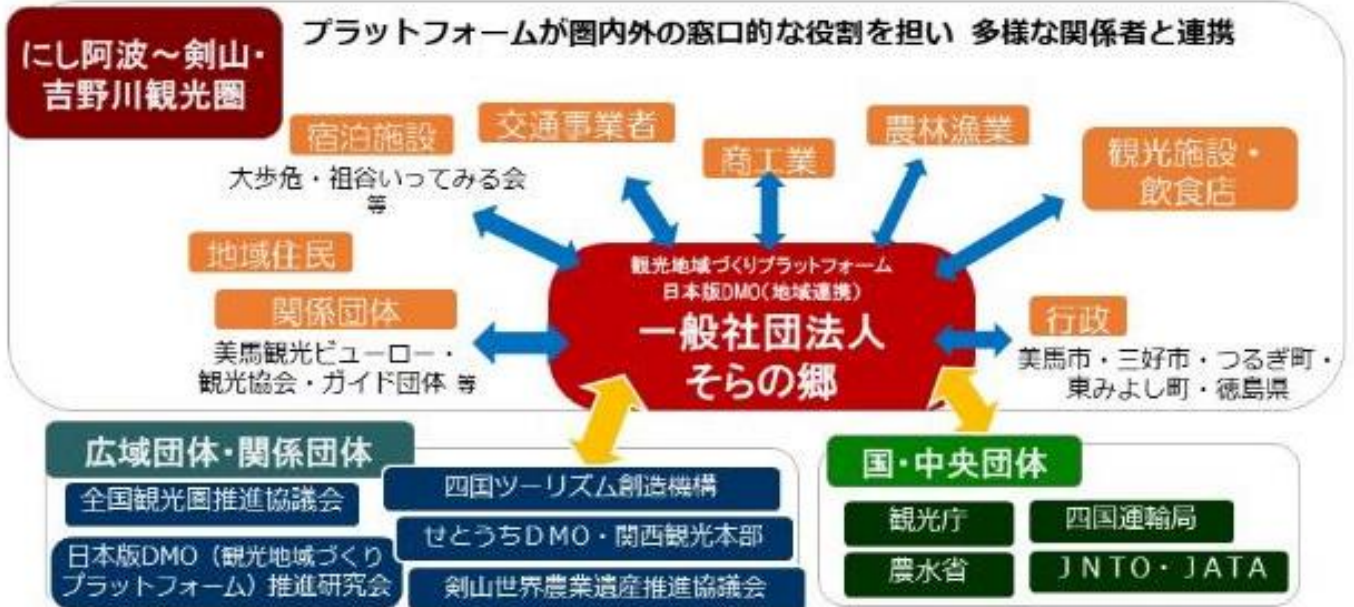
また、これからは、エコでエシカルな消費が共感を得る。

農山村だからこそ新たなライフスタイルの実践できる、例えば、畑を歩くだけで新たなビジネスをつくり農山村の産業構造を変えることができるのでないかという考え方はとても新鮮でした。講師の丸岡さん、出尾さん、楽しいお話を沢山ありがとうございました。また参加いただいた皆さんからも沢山の質問ありがとうございました。とても有意義な時間となりました。ご協力ありがとうございました。



## 日本版DMOの確立 (にし阿波版DMOの仕組み)

長年の観光圏の取組を通じ、地域連携・官民連携・異業種連携の体制が強化され、**プラットフォーム**(関係者間調整・事業管理・一元的対応等のマネジメント組織)形成 ⇒ **DMOの先駆け**



## 地域の課題解決に向けて

- ・ハイブリッドな実践コミュニティ形成  
地域内の人的資源、農業を活用し循環させる仕組みづくり
- ・脱中心的なネットワーク  
訪問者も含めた交流、関係人口の包括的なネットワークの形成
- ・「脱成長」で適正規模を目指す  
経済成長 最優先型経済システムの転換

↑  
共感・協創の地域ビジネスを創出して  
持続可能な支援の枠組みを目指す

これからの農業の可能性  
～世界と繋がる農山村のありかた～

共感で世界と繋がろう!

